

# 安城市生涯学習推進計画

## (生涯学習・スポーツ)

令和8年度(2026年度)～令和14年度(2032年度)

### 基本理念と基本目標

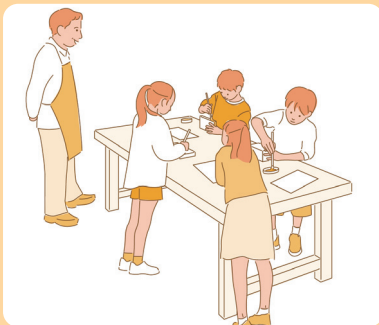
#### 【基本理念】

学びとスポーツで輝き、つながり、支え合い、  
元気になるまち

#### 【基本目標Ⅰ】

##### 人づくり

学び・スポーツに自ら  
関わる人を増やし、育てる



#### 【基本目標Ⅱ】

##### つながりづくり

学び・スポーツを通じて  
地域を盛り上げ、絆を深める



#### 【基本目標Ⅲ】

##### 環境づくり

学び・スポーツを誰もが  
楽しめる仕組みを作り、  
広める



### 生涯学習、スポーツについて

#### 生涯学習とは

生涯学習とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられます。

本計画の中では、市民の学習のために本市が取り組む社会教育や家庭教育に関する学習活動を「学び」と表現しています。

#### スポーツとは

この計画の中では、スポーツ基本法に定める「スポーツ」の定義を踏まえ、記録や勝敗を競う競技スポーツをはじめ、ウォーキングやラジオ体操など余暇を活用して気軽に行うことのできる運動のほか、身体を動かす遊びやレクリエーション、キャンプや野外活動、健康・体力づくりのために体を動かすこと等の活動も「スポーツ」と幅広く捉えます。

# 計画策定の趣旨

本市では、令和3年（2021年）3月に策定した「第4次安城市生涯学習推進計画」や平成28年度（2016年度）に策定した「第2次安城市スポーツ振興計画」に基づき、生涯学習の推進やスポーツの振興に取り組んできました。社会においては、誰もが年齢や立場、社会的制約等を問わず生涯学習・スポーツに取り組み、共に暮らせる「共生社会の実現」や、長い人生をより健康で充実したものにすることを目指す「ウェルビーイング実現」などが重視されるようになりました。また、こども基本法の施行により、これまで以上に子どもに寄り添った計画や施策の策定も求められています。

こうした状況を踏まえ、両計画が連携を一層深めることで、上記のような情勢を含む諸課題や社会の変化に対応し、市民の豊かで充実した生活の実現を目指すため、両計画を統合した「安城市生涯学習推進計画（生涯学習・スポーツ）」を新たに策定しました。

## 計画の対象

本計画に位置付ける取組は、市民の学び・スポーツ活動を支援するための市の取組を主な対象として位置付けています。

なお、計画の推進、実現にあたっては、民間事業者などの取組も十分把握するとともに、団体や指導者、企業等との連携も進めていきます。



## 策定にあたって

### 1 生涯学習・スポーツに関するアンケート調査

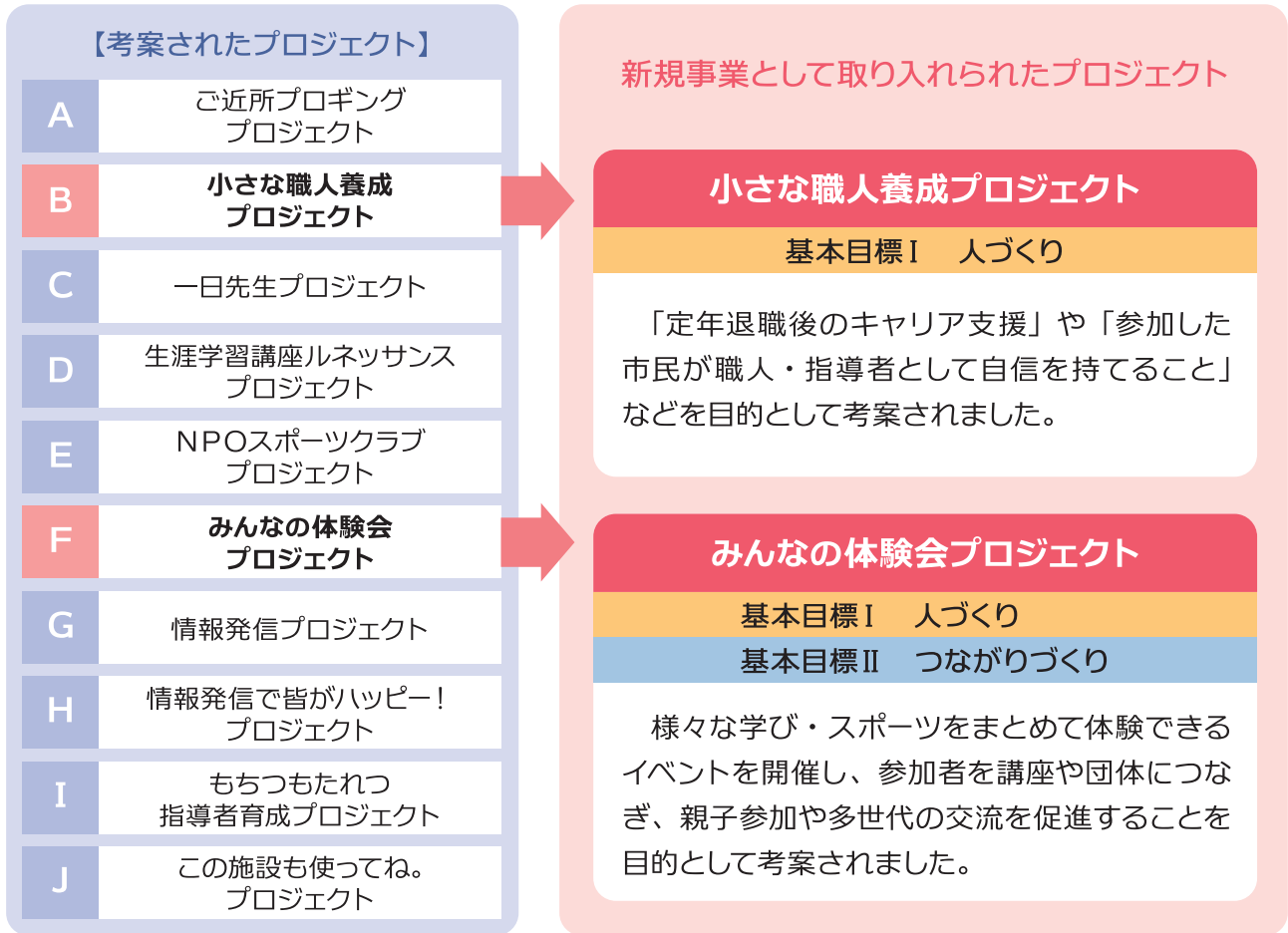
市民の考えやニーズを把握し、計画を策定する上での基礎資料とすることを目的にアンケートを実施しました。18歳以上の市民だけでなく、子どもの意見を把握するため、小学生から高校生の子どもの対象として実施しました。

#### 市民アンケート調査結果（一部抜粋）

	生涯学習に関する取組をしていない理由	生涯学習を盛んにしていくために力を入れるべきこと
生涯学習	1位 仕事が忙しくて時間がない	1位 生涯学習に関する情報を得やすくする
	2位 きっかけがつかめない	2位 生涯学習講座や教室の内容を充実する
	3位 費用がかかる	3位 住民のニーズや満足度などを把握し、反映していく
	スポーツ推進のために力を入れるべきこと	子どもの運動・スポーツの環境に対して力を入れるべきこと
スポーツ	1位 身近なスポーツ参加の機会を増やす	1位 公園や運動施設の整備と拡充
	2位 子どもたちの体力向上	2位 運動やスポーツの楽しさに触れるイベントの拡充
	3位 高齢者のスポーツ活動の推進	3位 学校や園での運動環境の充実

## 2 市民ワークショップの意見概要

市民の方々の参加のもとで、学習・研究活動を進めながら意見を述べ合っ、取りまとめるために、「生涯学習・スポーツを考えるワークショップ」を実施しました。



## 3 安城市の課題

安城市の現状の分析やアンケート調査等をとおして、以下の16の課題を抽出しました。

「人や取り組む機会」 についての課題	課題 1	学び・スポーツに自ら関わる人を育み増やす機運の醸成
	課題 2	生涯学習に取り組む機会の提供
	課題 3	スポーツに取り組む機会の提供
	課題 4	ライフステージにあわせた生涯学習・スポーツの推進
	課題 5	共生社会の実現に向けた取組の推進
「つながりや地域」 についての課題	課題 6	公民館のさらなる活用
	課題 7	地域スポーツの支援体制の強化
	課題 8	市民同士のつながりの創出
	課題 9	様々な活動を支える人々のつながりづくり
	課題 10	シビックプライドの醸成促進
	課題 11	スポーツへの多様な関わり方の推進
「環境や情報」 についての課題	課題 12	アフターコロナの時代における事業展開の検討
	課題 13	活動に取り組むやすい環境づくりの検討
	課題 14	情報提供の充実
	課題 15	デジタル社会への適応
	課題 16	地球温暖化に伴う課題

# 計画体系

## 【基本理念】

# 学びとスポーツで輝き、つながり、支え合い、 元気になるまち

生涯学習・スポーツ推進をとおして市民一人ひとりの人生が充実して「輝き」、市民同士の「つながり」を生み出し、そこで生まれた地域コミュニティが市民同士の「支え合い」の基盤となって、「元気になるまち」を実現することを目指し設定しました。

## 【基本目標Ⅰ】

### 人づくり

学び・スポーツに自ら  
関わる人を増やし、育てる

学び・スポーツの活動に自主的に取り組む人の増加や、競技人口の増加、指導者の育成、子どもの学び・スポーツの推進といった、「人づくり」を中心とした施策を、活動の機会の充実、共生社会の実現といった視点も取り入れながら推進します。

## 【基本施策】

- (1) ライフステージに応じた学び・スポーツ機会の充実
- (2) 誰もが学び・スポーツに取り組める共生社会の実現に向けた取組の推進
- (3) 地域資源を活用した学びの機会の提供
- (4) アスリートの育成と競技スポーツの振興
- (5) 学び・スポーツに関わる人の育成・確保

## 重点施策

- (6) 次世代を担う子どもの学び・スポーツの推進

## 【基本目標Ⅱ】

### つながりづくり

学び・スポーツを通じて  
地域を盛り上げ、絆を深める

地域の団体・コミュニティ活動の活性化など「地域」と「つながり」を中心とした施策を展開します。

## 【基本施策】

- (1) 公民館を活用した地域の交流の促進
- (2) 学び合う仲間づくり、交流の促進
- (3) 地域課題や社会課題の解決につなげていくための学びの支援
- (4) 地域スポーツの支援体制の強化
- (5) スポーツへの多様な関わり方の推進

## 重点施策

- (6) 地域や学校、多様な主体との連携

## 【基本目標Ⅲ】

### 環境づくり

学び・スポーツを誰もが  
楽しめる仕組みを作り、  
広める

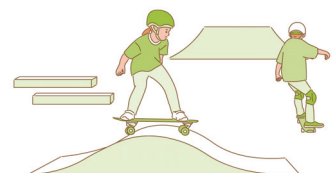
各種支援体制や生涯学習・スポーツを取り巻く仕組みや環境、安全かつ快適な施設の整備・運用、情報提供といった「環境」を中心とした施策を展開します。

## 【基本施策】

- (1) 取り組みやすい環境、継続しやすい環境づくり
- (2) 時代の変化に応じた施設や環境の整備

## 重点施策

- (3) 情報の提供、発信の充実



## 【基本施策】

## (1) ライフステージに応じた学び・スポーツ機会の充実

子どもや若者、働き盛り世代や高齢者などのそれぞれのライフステージに応じた多様な学び・スポーツの機会を提供し、市民一人ひとりの豊かな暮らしの実現に向けた学び・スポーツを支援します。

## (2) 誰もが学び・スポーツに取り組める共生社会の実現に向けた取組の推進

誰もが学び・スポーツに取り組めるよう、幅広い分野にわたる学びの機会の充実や魅力あるスポーツの機会提供、仕組みづくりを推進します。

## (3) 地域資源を活用した学びの機会の提供

市民や活動団体、地元企業等と連携しながら、安城の特質や風土、伝統文化を活用し、学び、次の世代に伝承していく事業を展開し、地域への愛着を育む学びの機会を充実していきます。

## (4) アスリートの育成と競技スポーツの振興

市民の競技力の維持・向上のために、競技大会などの開催支援を行い、競技スポーツの振興を図るとともに、ジュニア期からのアスリート育成のために、激励金の交付対象となる選手の把握に努めます。



## (5) 学び・スポーツに関わる人の育成・確保

各種団体やNPO、企業や大学などとの関係構築を図るとともに、スポーツ指導者養成講習会の開催などをとおして、新しい指導者の育成・確保と市民とのマッチングの効率化を目指します。

## (6) 次世代を担う子どもの学び・スポーツの推進

重点

学びの分野では、次世代を担う子どもたちが多様な学びや体験をすることで、自主性や創造性を育み、将来にわたり主体的に学ぶ姿勢を養うことで、自らの可能性を広げ、豊かな人間性と社会性を育むことを目指していきます。

スポーツの分野においても、次世代を担う子どもたちが心豊かに生きる力を育めるように、スポーツへの苦手意識を払拭し、一つでも多くの「できた」経験（成功体験）の獲得を支援するなど、スポーツが好きなようになるきっかけとなるスポーツの推進を図ります。

## 【関連事業等】

- 子ども向けの公民館講座・教室の開催
- 親子で参加できる講座
- 子どもが楽しみながら社会の仕組みを学べるイベントの開催
- 青少年の体験学習機会の充実
- 中学生が受講できる講座の開催、中学生の参加できる地域の団体の情報提供
- ジュニア選手の育成
- みんなの体験会プロジェクト

新規

新規

## 【基本施策】

## (1) 公民館を活用した地域の交流の促進

本市の特色ともいえる地区ごとに整備された公民館を活用し、地域の人と人の絆づくりを推進し、地域の交流の促進につながる事業を展開します。



## (2) 学び合う仲間づくり、交流の促進

学びの受講者同士で新しい仲間づくりをする機会を提供し、一人ひとりの学びの成果を人との絆づくりや豊かな地域社会の形成に活かして、よりよい地域づくりに貢献する生涯学習活動を目指します。

## (3) 地域課題や社会課題の解決につなげていくための学びの支援

地域課題や社会課題の解決につながるような学びの機会を提供することで、具体的な解決策を考え、実践する力を養い、地域社会の課題解決に貢献できる人材の育成を目指します。

## (4) 地域スポーツの支援体制の強化

新たな団体の育成と各種スポーツ団体等の支援を行うなどにより、幅広い年代でスポーツを継続して行えるようになり、多くの人々が健康で楽しみを感じながら暮らせるまちを目指します。

## (5) スポーツへの多様な関わり方の推進

市内にあるホームチームを地域の財産として支援できる体制づくりに努めるとともに、選手と子どもたちが触れ合うことができる指導会などの開催支援をとおして、地元への愛着心の向上や選手との絆を強化します。



## (6) 地域や学校、多様な主体との連携

重点

地域全体で子どもたちの育ちを支えていくため、コミュニティ・スクールをはじめ、地域と学校が連携・協働する地域学校協働活動を進めていきます。そのなかで、社会全体が教育の当事者であることの意識を広げ、大人同士の絆も深めていくことを目指していきます。

加えて、学び・スポーツの両分野の連携や休日の中学生部活動の段階的な地域展開への取組を契機に、子どもたちが学び・スポーツに継続して親しむことができる環境の整備、機会の創出に取り組みます。

## 【関連事業等】

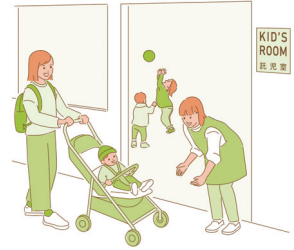
- **新規** コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の推進
- **新規** 中学校部活動の運営支援
- 市民が自ら企画・運営する講座の開催
- 大学と連携した講座の開催
- 企業や団体、他部署と連携した講座・イベントの開催
- 地域と連携した公民館事業の推進

【基本施策】

(1) 取り組みやすい環境、継続しやすい環境づくり

託児付きの講座や土日祝日、平日夜間の講座、やさしい日本語を用いた講座、合理的配慮※のされた講座、オンライン形式の講座等、市民の主体的な学びを支える環境整備を進めます。

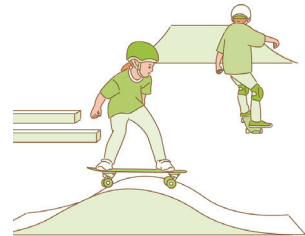
加えて、必要な情報の提供や相談窓口の充実を図り、市民が安心して学び続けられる環境を整えることで、地域全体の学びの質の向上を目指します。



(2) 時代の変化に応じた施設や環境の整備

既存の施設については、定期的な修繕や工事を実施し、利用者の安全と快適さを確保するとともに、老朽化した施設の整備や今後の在り方を含めた有効な活用方法を検討していきます。

また、気軽にスポーツができる場所の充実を検討するとともに、事業のオンライン申込みや施設のオンライン予約の拡充など、利用者の利便性を高め、時代の変化に柔軟に対応しながら、より身近で取り組みやすい環境を整備します。



(3) 情報の提供、発信の充実

重点

市民が必要な時に必要な情報を容易に入手できるよう効果的な情報提供、発信の充実を図り、これまで取り組んでいなかった分野へ興味を持つきっかけをつくります。あわせて、施設の予約状況、利用方法、料金など、施設に関する情報をわかりやすく提供していくことで、施設を利用するきっかけをつくります。

上記の取組に加え、広報あじょう、生涯学習情報誌あてな、市公式ウェブサイト、市公式SNS、地元メディアに対して積極的な情報提供を行うなど、これまで以上に様々な媒体を有効活用し、公民館講座や公民館イベント、スポーツイベントなどの情報提供・発信について、より一層の充実を図ります。

【関連事業等】

- **新規** 学びに関する情報とスポーツに関する情報が連携した「生涯学習情報誌あてな」の発行
- **新規** ICTを活用した情報の集約、効果的な発信
- 様々な媒体での情報発信

掲示板



※事業者や行政機関等に対して、障害のある人から社会の中にあるバリア（障壁）を取り除くために何らかの対応が求められたときに、負担が重すぎない範囲で対応を行うこと

# 指標一覧

	指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和14年度)
全体目標	日常生活が「充実している」と回答した人の割合	69.6%	前回調査を上回る
	「生涯学習に満足している」と回答した人の割合	66.8% <small>隔年で実施のため令和5年度数値</small>	70.0%
	スポーツ実施率	69.5% <small>隔年で実施のため令和5年度数値</small>	70.0%
「人しほりに係る指標	生涯学習講座・教室の受講者数	7,464人/年	9,000人/年
	子どもの公民館講座・教室の参加者数	2,219人/年	2,600人/年
	市主催スポーツ事業参加者数	86,158人/年	126,000人/年
	ジュニア選手育成を目的とした技術指導会参加者数	2,090人/年	2,500人/年
	学びとスポーツが連携したイベントへの参加により「学び・スポーツに関する新しいことに取り組むきっかけとなった」と思う人の割合	- (新規指標※)	90%以上
「つながりに係る指標	地区公民館の利用率	41.0%	前回調査を上回る
	スポーツを一緒に行っている仲間がいる人の割合	44.7%	前回調査を上回る
	中学生を受け入れる公民館活動団体数、地域スポーツ団体数	156団体	現状を上回る
	地域学校協働活動実施率	- (新規事業)	100% (全中学校区)
「環境しほりに係る指標	「生涯学習情報誌あんでな」を読んでいる人の割合	(新規指標※)	前年度を上回る
	市公式ウェブサイト閲覧数	152,919回/年	前年度を上回る
	生涯学習・スポーツの情報を入手している人の割合	- (新規指標※)	前年度を上回る
	市の情報発信により「学び・スポーツに関することに取り組むきっかけとなった」と思う人の割合	- (新規指標※)	90%以上

※新規指標のため、令和8年度以降アンケート調査により数値を把握するものとします。

## 計画の推進体制

計画の中間年である令和11年度(2029年度)には、必要に応じて見直しを行います。なお、本計画に基づく施策・事業の実施・進捗状況については、社会教育審議会やスポーツ推進審議会等において報告し、計画の推進や取組の見直しについて意見を受けるものとします。

